

# 埼玉岳連

埼玉県山岳連盟  
埼玉岳連報 第12号

発行所 埼玉県山岳連盟  
上尾市上1481-5  
電話048-775-1723

発行者 田中 文男  
編集人 広報 岩井田 正昭  
発行部数 1500部

## 《2002年国際山岳年記念事業を成功させよう!》



【スパンティーク峰 登頂】

『登頂者は左から稲葉隊員、天野隊員、撮影 萩原隊員』

### 『2002年を迎えて』

埼玉県山岳連盟会長 田中 文男

21世紀がスタートして気がつく、もう二年余り・・・正直、はやいなあと思っています。そう言えば、埼玉県山岳連盟の新しい執行部が誕生してこれも一年余り・・・お陰様で予定されている事業は全て順調に終了させつつあります。県岳連の皆さんのご協力とご支援があったからだと、感謝申し上げます。

ことに埼玉岳連が主管した中高年安全登山者講習会東部地区の開催。61名の方が各県から参加して下さいました。これをサポートした埼玉岳連のスタッフや関係者が31名。合計92名で大変好評でした。多くの県の方々に埼玉岳連を再認識していただくと同時にPRにも充分役立ったろうと自負しております。ありがとうございます。

さて、今年もまた2月3日～4日、積雪期指導者講習会兼検定会が那須で開催されます。この参加者も約60名。多くの方が関心を持って下さることに感謝致します。これらの指導者の方々埼玉の宝です。今後あらゆる面で活動の場を提供したいと思っております。市町村や県の要請にも応えられるでしょうし、第59回国民体育大会登山競技の運営については大きな戦力となつて下さると思っております。ヒマラヤから子供たちへの登山指導までどうぞ、幅広く充分の力を発揮してください。期待しております。

もう一度、同じ事を言うことになりましたが、国民体育大会の運営は実は大勢の人手を必要とします。全国から参加する方々にどう対応すべきか、すでに県山岳連盟としては団体実行委員会を結成いたしました。まだまだ手不足だと思います。各会の更なるご協力、重ねてお願いいたします。4月から、新たな事業が次々と計画されます。遭難に備えるためにも、山岳共済は重要です。加入を忘れないでください。私たちがどれだけ多くの恩恵を受けたか知っておられると思いますが、お忘れにならないように。この一年、さあ、一緒に歩ませてください。

# 新年を迎え

明けましておめでとうございます。

二〇〇二年の新春を迎え、謹んで加盟団体をはじめ皆様のご活躍、ご健康をお慶び申し上げますとともに、本協会に対する温かいご支援ご協力を御礼申し上げます。

二〇〇四年に開催されます「彩の国・まごころ国体」まであと二年余り、開催に向けてさまざまな準備が行なわれつつあります。国体実施のためには、連盟の方々に役割を分担していただく必要があります、皆様のご協力ご支援を切に望むところです。

また、各委員会等が、活発に活動することによって埼玉県山岳連盟が、より向上されていくと信じ、そのためにも、各委員は積極的に参加し、協力しあうことで、より今まで以上に活性化してほしいと念願しております。

そして、日本山岳協会の役員改選に於いて当岳連の田中文男会長が、日本山岳協会の会長の要職に就任されました。これは埼玉県山岳連盟にとりまして大変名誉であると同時に大きな責務を付されたものと考えます。

今年度は新体制を土台とした非常に重要な時期であり、社会が変化する中で、それに対応できる各委員会の充実、連携強化を計り確立し、登山界の発展と、埼玉県山岳連盟にとりましても、よりよい年となりますよう心からお祈り申し上げ新春のあいさつといたします。

埼玉県山岳連盟 理事長

福田 靖

## 県山岳連盟 パキスタンの7千メートル級峰 海外遠征で初登頂

県山岳連盟(田中文男会長)の登山隊が八月、パキスタンのレッサーカラコルム・スパンティーク峰(標高七、〇二七メートル)の登頂に成功した。同連盟はこれまで、ヒマラヤ・マカルール峰(標高八、四六三メートル)などに登山隊を送り出しているが、海外遠征で登頂に成功したのは今回が初めて。同峰への登頂成功は今後の励みになると、関係者も喜んでいいる。

### エベレストへの励みに

「スパンティーク」はバルティー語で「高い草原に羊がいる山」を意味し、同峰は、パキスタン北部、ヒマラヤ山脈の東部分に位置している。同連盟によると、初登頂は一九五五年、西ドイツの登山隊が果たしたが、国内ではこれまで数組しか登頂に成功していない難所の一つ。

「埼玉2001スパンティーク登山隊」として出発したのは六人で、七月二十日に登山活動を開始。標高四千七百メートル、五千二百メートル、六千五百メートルにそれぞれキャンプを設営し、南東稜を経て八月七日、見事三人が頂上にたどり着いた。

登頂を果たした一人、川口市差間の天野賢一さん(三七)は「ガスで視界が遮られるなど、天候が不安定だった」と当時を振り返り、「頂上に着いた時はふらふらでしたが、『やったな』とお互いに握手を合いました」と、喜びを語った。

天野さんによると、五人がたどり着いた最終の第三キャンプから頂上までは標高差八百メートルと遠く、風の影響などで一度目は失

敗。三日後、二度目のアタックで登頂に成功した。特に帰路は視界をほとんど遮られ、登る時に立てた赤い旗が唯一の頼りになるとい

う苦勞もにじませた。登山はキャンプ設置と荷上げの繰り返し。荷物の一入分の重さは約二十五キロにもなり、役割分担が重要になる状況下で、「お互いの気遣いで、凍傷などの苦しさを乗り越えた」と、技術、体力以上の成功のポイントを語った。

登山隊実行委員長を務めた福田靖同連盟理事長も今回の成果を喜んでいいる一人。「長年の目標であるエベレスト登頂に向けて、大きな励みになる」と同連盟の今後に期待を込めた。

(埼玉新聞 一月二十二日)

## 埼玉県山岳連盟 スポーツ指導員専門科目 (岩登り実技) 研修会報告

十一月十一日、天覧山において県岳連主催スポーツ指導員専門科目(岩登り実技)研修会を実施しました。この研修会には指導員の資格更新のさいの必須項目であり、二十一人、見学二人の指導員が参加しました。

内容は①検定基準の解釈と指導法の意思統一 および問題点抽出②岩登り技術の指導法および実技の再確認となっております。具体的には

①は天覧山の展望台で進行役を私が務め、検定基準にある項目の説明を順に質問形式で聞いていきました。指導法の意思統一、問題点についても参加者は前向きな方、現場で指導の実践をされている方が多く、活

発な意見が出されました。改めてブリーリングの危険性が問題になったり、様々な登山具の長所、短所が指摘されますが、経験からその使用の判別できる場合と、初心者から初めて教わる時とのギャップは当然ありますので、指導法としてどの辺りが妥当なのかというのが今回のテーマでした。旧来から所属会で断続的に使われたオリジナルなやり方にとらわれることなく、県岳連の講習会に講師として参加する際の共通の指導法を会得してもらおうのも今回の趣旨でもありました。

②は時間が無く、制動確保と自己脱出しができませんでした。トップの滑落にセカンドが制動確保、自己脱出という想定に、六十キロの鉄の重りを使用。足場もわるくたいへんだったとおもいますが、制動、アンカー、支点など重要性を体験いただけたのではないかと思います。

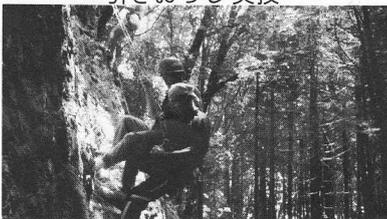
指導部としてもはじめてで不慣れな点もあり、時間も足りませんでした。指導員の方には指導法と技量の再確認の機会となったのではないのでしょうか。次回は2月2日〜3日に那須において雪上研修会を講習会と併設で予定しています。

最後に、参加いただいた皆様、お疲れ様でした。(指導部 秋庭)

ザイルワークの指導



引きおろし実技



平成十三年十一月四日  
《第14回県民総合体育大会》

平成13年度県民体育大会山岳競技会(縦走の部)参加者成績表

『山岳競技会 縦走の部』が小鹿野観音山 国体コースで行われ、少年男女、成年男女、一般の計約50名の選手参加(役員 計26名)において盛大に開催された。

前日の大雨もうそのような快晴の中、小鹿野町立倉尾小学校グラウンドに勢ぞろいし、福田県岳連理事長の開会宣言後、9時30分スタートし、午後1時頃終了した。島田競技部長代理より成績発表のあと、田中県岳連会長より表彰状のほか副賞として県産の野菜等を授与し、参加者を喜ばせた。成績は別項のとおり。

逆コースとはいえ今回参加した国体選手の記録が注目される。(前回成年男子・参考記録1時間13分47秒)



競技種目(成年男子)

順位	ゴールタイム	ゼッケンNo	氏名	住 所	所属団体名及び学校名
1	52.25	52	本橋 和之	秩父市大字山田	国体選手
2	1:01.18	39	入戸野 拓也	日高市下鹿山	新電元
3	1:09.35	51	佐藤 豊	滑川町羽尾	国体選手
4	1:22.14	3	滝山 博	本庄市仁手	深谷山岳会
5	1:27.45	44	岩武 成秋	川口市青木	日産ディーゼル
6	1:31.45	42	町田 周一	吹上町三番免	あゆむ山の会
7	1:33.47	5	高橋 康一	大里郡岡部町岡部	深谷山岳会
8	1:35.34	41	金子 昭	さいたま市櫛引町	あゆむ山の会
9	2:05.59	25	内山 慎一	川越市仙波町	坂戸高・顧問
10	2:25.07	47	浜畑 照裕	蓮田市笹山	蓮田山の会

競技種目(成年女子)

順位	ゴールタイム	ゼッケンNo	氏名	住 所	所属団体名及び学校名
1	1:33.09	3	丸山 頼子	さいたま市上山口新田	大宮山岳会
2	1:57.26	19	関根 邦江	行田市藤原町	戸田山の会
3	2:07.15	66	桑山 イミコ		
4	2:18.02	20	小泉 しづ子	川口市戸塚東	戸田山の会
5	2:25.11	46	高橋 生長子	蓮田市馬込	蓮田山の会

競技種目(少年男子)

順位	ゴールタイム	ゼッケンNo	氏名	住 所	所属団体名及び学校名
1	1:20.05	23	武藤 義和	入間市小谷田	狭山経済高
2	1:21.47	59	平野 貴敏	入間市春日町	聖望学園山岳部
3	1:23.44	58	佐瀬 智行	日高市中鹿山	聖望学園山岳部
4	1:23.50	35	水野 裕史	越谷市七左町	春日部東高
5	1:25.10	31	岡辺 拓人	川越市霞ヶ関北	坂戸高
6	1:26.35	37	池田 康俊	北足立郡吹上町富士見	鴻巣高
7	1:31.11	33	加藤 竜馬	川越市の場	坂戸高
8	1:31.14	57	小川 琢	西東京市緑町	聖望学園山岳部
9	1:32.19	61	臼井 良輔	西多摩郡瑞穂町石畑	聖望学園中学陸上
10	1:34.05	10	茅島 準	入間市野田	入間向陽高
11	1:34.11	7	坂場 幸太郎	狭山市水野	入間向陽高
12	1:34.56	38	尾澤 悠太	北埼玉郡川里町赤城5番地	鴻巣高
13	1:37.35	24	田中 祐一	所沢市東所沢	狭山経済高
14	1:38.29	34	西川 太一	草加市苗塚町	春日部東高
15	1:39.56	32	小室 晴	入間郡毛呂山町川角	坂戸高
16	1:46.10	55	瀧島 俊也	飯能市原市場	聖望学園山岳部
17	1:48.00	60	竹内 尚史	新座市大和田	聖望学園中学陸上
18	1:48.50	28	岡田 宙	川越市霞ヶ関北	坂戸高
19	1:51.33	54	安藤 博之	飯能市中藤中郷	聖望学園山岳部
20	1:55.09	36	宮山 隼輔	春日部市藤塚	春日部東高
21	1:55.23	27	佐藤 弘幸	川越市南田島	坂戸高
22	1:56.01	30	岩本 昌也	鶴ヶ島市富士見	坂戸高
23	2:21.07	29	中山 貴将	川越市の場	坂戸高

競技種目(少年女子)

順位	ゴールタイム	ゼッケンNo	氏名	住 所	所属団体名及び学校名
1	1:41.23	22	松木 志津佳	飯能市下直竹	狭山経済高
2	2:05.40	62	千田 彩子		鴻巣高校

埼玉県山岳連盟  
埼玉県高等学校体育連盟登山専門部  
**第14回県民体育大会**  
**第6回スポーツクライミング競技会**

## GENERAL RESULT

期間：2001/12/23

DIFCULTY

カテゴリー：ミドル

《第14回県民総合体育大会》

「スポーツクライミング競技会」が加須市民体育館にて行われた。  
カテゴリーを一般男女・ミドルクラス・ビギナークラス・ジュニアクラスに分けて競技を行った。

順位	姓名	所属	No.	1/2 Final記録				Final記録	
				A		B		到達P	+/-
				到達P	+/-	到達P	+/-		
1	八木 真二	バロー	28	top		top		28.00	+
2	田村 鷹志	吉見高校	1	top		top		27.00	
3	篠田 亜佐子	PUMP	11	top		top		27.00	-
4	小川 一広	KSCC (加須SCC)	20	top		29.00	-	27.00	-
5	小澤 信太	坂戸高校	12	top		top		24.00	
6	斉藤 正	PUMP	17	top		top		24.00	
7	永野 研二	深谷山岳会、KSCC	22	top		top		22.00	-
8	角田 大喜	庄和高校	14	top		top		21.00	+
9	楢田 益功	浦和漢稜	26	top		29.00	-	19.00	
10	浜田 剛	PUMP	13	top		29.00	-	19.00	-
11	大艸 恵治	KSCC (加須SCC)	9	top		29.00	-	4.00	+
12	野木 秀一	PUMP	27	top		28.00			
13	増田 満俊	KSCC (加須SCC)	19	top		28.00	-		
14	北郷 孝一	PUMP	25	top		26.00			
15	早川 俊之	三陽あるこう会	34	top		24.00	-		
16	太田 一郎	川口ピオレ山岳会	16	top		23.00	+		
17	田中 仁	KSCC (加須SCC)	10	top		22.00			
18	藤井 徹也	PUMP	32	23.00		26.00	-		
19	沖山 勇	浦和漢稜	18	23.00		23.00			
20	小川 修一	庄和高校	23	23.00	-	9.00	+		

カテゴリー：ジュニア

## GENERAL RESULT

順位	姓名	所属	No.	1/2 Final記録				Final記録	
				A		B		到達P	+/-
				到達P	+/-	到達P	+/-		
1	村田 士		4	top		top		27.00	
2	門間 希美	JSCC (加須Jr)	2	top		top		24.00	+
3	管貞 まるか	PUMP	33	top		top		21.00	
4	岩崎 有里	JSCC (加須Jr)	6	33.00		26.00			
5	岩崎 英紀	JSCC (加須Jr)	7	32.00	+	19.00			
6	野本 ちひろ	JSCC (加須Jr)	31	31.00		20.00	+		
7	菊池 里林子	JSCC (加須Jr)	21	14.00		7.00	+		

カテゴリー：ビギナー

## FINAL RESULT

順位	姓名	所属	No.	1/2 Final記録				Final記録	
				A		B		到達P	+/-
				到達P	+/-	到達P	+/-		
1	横川 達也	庄和高校	15	top		top		23.00	
2	平原 寛	KSCC (加須SCC)	8	top		top		23.00	-
3	犬飼 亮平	バロー	29	top		top		20.00	-
4	村田 忠信		3	top		top		19.00	
5	田中 一考	バロー	30	39.00		top			
6	小谷野 敦生	庄和高校	24	38.00		top			
7	浅井 一男	PUMP	5	36.00	-	20.00			

# 【平成14年1月理事会報告】

日時 平成14年1月27日 午後1時～3時  
北本市文化センター

理事会出席者 田中、福田、牧野、平沼、

武井、熊谷、岩崎、三ツ木、瀬藤、  
宮野、中山、岩井田、新井、加藤、  
大野(好)、鳥、榎本、浅井、  
長谷川、鈴木、大野(文)、村岡、  
桜井、柳下、板橋(聴講)

## 1 開会挨拶 田中会長

(敬称略)

## 2 各部報告

12月7日～8日 県活センター

救急講習会・リーター会議・救急法講習会

### 報告別項

12月15日 加須

ビレーヤ講習会

12月22、23日 加須

国体準備委員会

12月23日 加須

クライミング 県体

1月8日 大宮

海外委員会

1月19日 明治記念館

日山協新春懇親会

1月22日 北本市

常任理事会

## 3 協議

1) 第59回国体山岳競技会役員について

県内役員案及び県岳連実行委員会組織図が福田理事長より提出、説

明を行った。

国体準備委員会を正式に国体実行委員会として発足することを承認される。

各部毎の部員は各担当部長が、判断し部員召集を行うことで承認される。

審判員派遣予定について

平成15年静岡国体の審判員派遣に宮野競技委員長を推薦し、これを承認される。

14年関東ブロック・15年関東ブロックについては今後協議することにした。

2) 平成14年総会に当たって

日時 4月20日(土)

午後1時～ 北本文化センター

14年度役員改正、地区理事の推薦報告、各部報告と計画、その他。

総会開催についての日程及び事項については承認される。

3) 平成13年度 埼玉県体育協会功労賞の推薦について

田中会長より推薦に至った経緯を説明し、副会長牧野要雄氏が満場一致で承認される。

4 各部報告・計画

競技部・選手強化・クライミング指導部

1) 地域スポーツ指導員研修会

平成13年9月30日

北本市中央公民館

指導員研修。資格更新手続き等の研修を行った。参加者52名

2) 講習会・研修会

岩登技術研修会 平成13年11月11日

天覧山

スポーツ専門科目 実技研修を行った 別項 参加者28名

水雪技術研修および講習

平成14年2月2日～3日

那須

詳細次号

雪洞技術講習会

平成14年3月2日～3日

谷川岳天神尾根

雪洞構築・遭対部との合同による救助訓練。

3) 日山協派遣関係

登攀研修会・主任検定員養成

平成13年10月27日～28日

新潟県新発田市にて開催し、指導部より秋庭、新井が参加。

遭対部

平成14年8月31日～9月1日

加須市民体育

平成14年度日山協レスキュー講習会

埼玉開催

自然保護指導部

平成14年3月16日～17日

雲取山

ジュニア

海外登山部

平成14年2月22日

クルト・デイムベルガー記念講演

(国際山岳年)

平成14年2月23日

海外登山技術研修会

山梨

59国体準備委員会を59国体実行委員会に移行。

## 事務局短信

事務局

14年2月16日

平成13年度関東地区山岳連盟連絡協議会

群馬県・水上

参加予定者 田中、福田、加藤、平沼

総会に向けて資料提出依頼(各部の活動報告・計画・地区理事の推薦・13年度会費納入状況) 広報部

昨年12月より広報担当になり2月中旬に復刊号を発行予定です。 岩井田

前事務局より仕事を引き継いで、早一年。二〇〇一年、年明け早々の降って湧いた大仕事。訳も分からずただ皆様の催促に導かれて書類を整理し、会計を纏め、やっとの事で総会を迎えたのがつい昨日のことのようです。

この一年、新しき岳連を目指し、少しでも岳連の様子を皆さんに伝えたいと考えておりましたが、毎日届く書類の山に埋もれ身動きできず、日山協の月報に短信を時々付録するのが精一杯でした。つまり現在の事務局の能力では「力及ばず」でした。

しかし、この度救世主が現れ、念願の会報が編集・発行されたことに感謝しております。また今後も継続して定期的に発行されることを念じております。そうすることによって、開かれた岳連、会員のための岳連になり、事務局の仕事も整理されるものと信じております。どうぞ、岩井田氏にご協力をお願いいたします。(加藤 富之)

# 平成13年度 埼玉県山岳連盟業務組織図

顧問：  
 参与：大沢亮一・井上守司・野井 篤  
 北千恵吉・大野幾雄・井古田忠男

## 各部・各委員会

名誉会長  
 (浅見 豊)

会長  
 (田中 文男)

副会長  
 (中田 弘)  
 (新井 宏司)  
 (武井 正男)  
 (森下健七郎)  
 (牧野 要雄)  
 (平沼 伸一)  
 (北田 紘一)

59国体  
 実行委員会  
 委員長  
 (平沼 伸一)  
 事務局長  
 (大野 幾雄)

監事  
 (長谷川 茂)  
 (芝田 信子)

理事長  
 (福田 靖)

副理事長  
 (大野好司)

**指導部**  
 部長 (中山 法行)  
 (中田 弘) 副部長 (秋庭 栄)  
 指導委員会 委員長 (中山 法行)  
 副委員長 (秋庭 栄)  
 事務 (野村 善弥)

**競技部**  
 部長 (大野 好司)  
 (武井 正男) 副部長 ( )  
 (森下健七郎)  
 競技委員会 委員長 (宮野 昇)  
 副委員長 ( )  
 クライミング委員会 委員長 (大倉 至)  
 副委員長 ( )  
 事務 ( )  
 選手強化委員会 委員長 (大谷 明)

**遭難対策部**  
 部長 (瀬藤 武)  
 (牧野 要雄) 副部長 ( )  
 遭難対策委員会 委員長 (瀬藤 武)  
 副委員長 ( )  
 事務 ( )

**海外登山部**  
 部長 (加藤 富之)  
 (福田 靖) 副部長 (内野 安登)  
 海外登山委員会 委員長 (烏 辰克)  
 副委員長 (成田・鈴木)  
 事務 (天野・塩谷)

**自然保護部**  
 部長 (山口 定男)  
 (新井 宏司) 副部長 (岩崎 繁夫)  
 自然保護委員会 委員長 (三ツ木 達男)  
 副委員長 (瀬戸 朋義)  
 事務 ( )

ジュニア委員会 委員長 (町田 伸一)  
 (高体連) 副委員長 (大谷 明)  
 事務 ( )

**事務局**  
 局長 (加藤 富之) 総務  
 副局長 (岩井田 正昭) 広報  
 ( )  
 ( )